



母国で描いた夢のため 洞爺湖町で学ぶ日本文化

profile

リリ・エリザベス・ダブリー(写真右)
2002年4月17日生まれ。趣味は自転車、日本のマンガやアニメ。夢は自分の家を建て、慈善活動を続けること。
グレース・メアリー・ヘンリー(写真左)
2005年7月15日生まれ。趣味はフルートやピアノの演奏、木彫、本を書くこと。好きな場所は自分の家の農場。

Spotlight

スポットライト



英国ボランティア青年

リリ・エリザベス・ダブリーさん
グレース・メアリー・ヘンリーさん

新

型コロナウイルスの影響で、4年間に渡って途絶えていた洞爺湖町と英国の交流が復活しました。

リリ・エリザベス・ダブリーさんは、英国南西部に位置する風光明媚なコッツウォルズのグラスター州グロスタシャーの出身。歴史的な建造物や自然に恵まれた地域で育ち、ロンドンの大学に進学。哲学と芸術史の学位を取得し、慈善活動にも熱心に打ち込んでいます。

グレース・メアリー・ヘン

リーさんは、北東部の北海に面し、今なお古城などの史跡が残るノーサンバーランド州アニックの出身。実家で営んでいる農場を手伝い、子羊やヒヨコの育成などの仕事を任されていた。地元のスークラブでのボランティア活動や、養蜂場の経営にも携わりました。

2人とも海外での生活に興味を持ち、9月に来町。町内の英語教室などでおよそ1

年間、活動を続けます。

リリさんは、洞爺湖町の印象について「美しく、清掃が行き届いた町。皆さんに親切にしてもらい、とても感謝しています」と笑顔を見せま

す。英語を教えたり、戸外の散策、スキーやカヤックを楽しむみたいと今後の町での生活を描いています。

グレースさんは「私たちが受け入れてくれてありがとうございます。皆さんの文化を学べることを期待しています」と意気込んでいます。将来は作家になって環境保護の役に立ちたいという夢をもっており、滞在中も山での散策などに出かけるつもりです。

日本の文化について、リリさんは「言語が全く違います。英語はアルファベットしかありません」、グレースさんは「英国とは互いに敬意を持っていると思います」と話します。札幌や東京など都市部の観光も楽しみにしている2人。洞爺湖町を出発点として、日本を学び尽くそうを張り切っています。

東奔西走



厳しい夏の暑さもようやく収まり、秋の気配が深まってきたこの頃。朝晩の空気が冷たくなってくると決まって名残惜しさを感じていましたが、今年ばかりは違いました。紅葉に包まれた洞爺湖を眺めるのが今から楽しみです。(D.Y)

町内で行われるイベントも一通り落ち着きました。大変でしたが、町民のみなさんが楽しんでいる姿を近くで見ることができて、とても嬉しかったです。寒い季節が待っていますが、まだまだ洞爺湖町の魅力を探していきたいです。(Y.A)

今月のワンショット



涼しげな音を鳴らす蛇田神社のホタテ風鈴